

「授業備品」N070 H30.9.26 「全員活躍」の具体的な姿

アメリカでは教師中心の一斉講義型の授業を改革するために、「主体的に協働的な学び（ActiveLearning）を開発した。もう30年以上前のことである。日本では、その形式を参考にし学習指導要領総則を改訂した。「主体的・対話的で深い学び」の基になったアクティブ・ラーニングを参考にしている。だが、指導要領は変わったが、まだまだ「教師活躍」の授業が続いている。教師の経験値が邪魔をしている。かつて「主体的・対話的で深い学び」の姿として、子供「参加型授業」を提唱してきた。だが「参加」だけでは、「学びに向かう力（学習意欲）」がなくても可能なのだ。そこで、「全員参加」から「全員活躍」を提案する。各学校単でUD化を図って欲しい。

*太字を参考に各学校・各学級で子供たちと一緒に具体的な動き方を創るとよい。

(1) 展開

展開	○学習活動・全員活躍する姿	○子供が全員活躍する姿
資料の提示	1 前時の振り返りをする	・全員立ち一人ぶつぶつ①
つまもい	2 課題を解く方法を一人で考える	・全員立って二人以上ぶつぶつ後、一人で書く②
問い合わせの共有	3 本時の資料を見て気付きを発表する ・気付いたこと ・考えられること・調べてみたいこと 課題の解決方法おおよその答えを発表する ・ペアや班・全体等で「見通し」を発表する	・全員立って情報交換後、ノートに書き発表③
（課題の設定）	4 課題を確認（2段書き） 5 本時のシラバス・言語わざ・キーワードの確認 6 課題解決の予想が立つかをサインで確認	・全員立ち一人ぶつぶつ④ ・見通しが立てられない場合は、分かる子がヒント出します。（聞きに行く場合もある）⑤
解決自力	7 一人で課題を解決する	・自力解決が難しい場合は、早い段階で立ち歩き仲間に聞いたり、教え合う⑥
集団解決	8 ペア・班等で学習をする 9 全体の学び合い1「事実・単純な意見集約」 (課題1段落目) 10 全体の学び合い2「考察」 (課題2段落目) (⑩・⑪⑫⑬⑭の視点で考察) 11 教師の修正を聞く	・ホワイトボードに全員が書き、一致点を話し合ったり、共通点のキーワードを書く⑦ ・ホワイトボードを全員で前で見て同じか、違うか、似ているかの分類⑧ ・出た意見や分類されたホワイトボードを見て考察⑨
（価値と有り）	12 自分の言葉でまとめる	・全員立ち一人ぶつぶつ⑩
振り返り	13 振り返りを書く ①分かったこと②学んだこと③知りたいこと	・全員立ち一人ぶつぶつ⑪